

恵山の火山活動解説資料（令和2年5月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません

○活動概況

- ・噴気などの表面現象の状況（図1、図2-①）
監視カメラで観測されたY火口の噴気の高さは火口縁上100m以下で、噴気活動は低調な状態です。
- ・地震及び微動の発生状況（図2-②～③）
火山性地震は少なく、地震活動は低調な状態です。
火山性微動は観測されていません。
- ・地殻変動の状況（図2-④）
GNSS連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められていません。



図1 恵山 西南西側から見た山頂部の状況（5月28日、^{たかだい}高岱監視カメラによる）

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ（<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>）や気象庁のホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

次回の火山活動解説資料（令和2年6月分）は令和2年7月8日に発表する予定です。

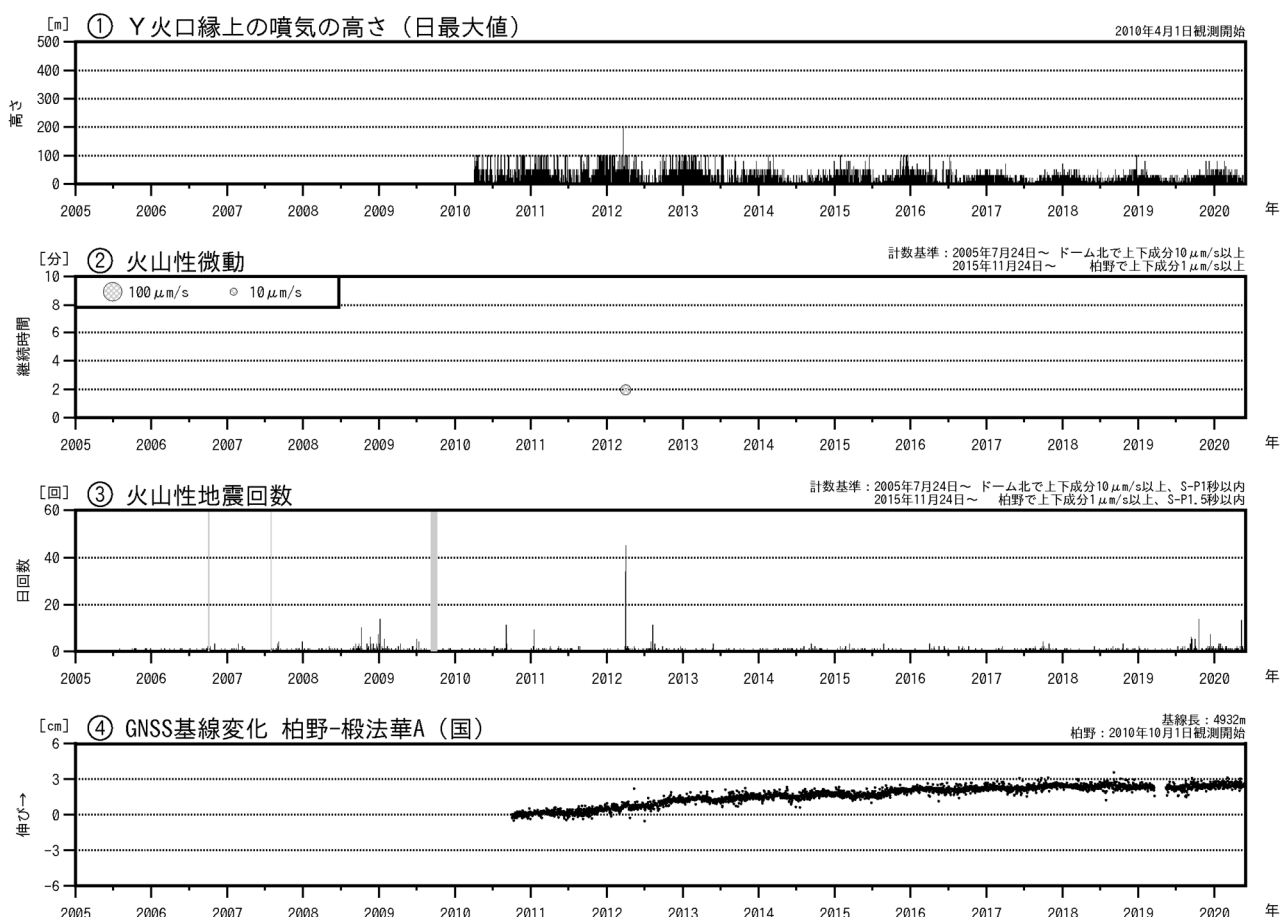


図2 恵山 火山活動経過図（2005年7月～2020年5月）

③の灰色の期間は機器障害のため欠測しています。

④のGNSS基線は右配置図に対応しています。

④のGNSS基線の空白部分は欠測を示します。

④のGNSS基線は「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。



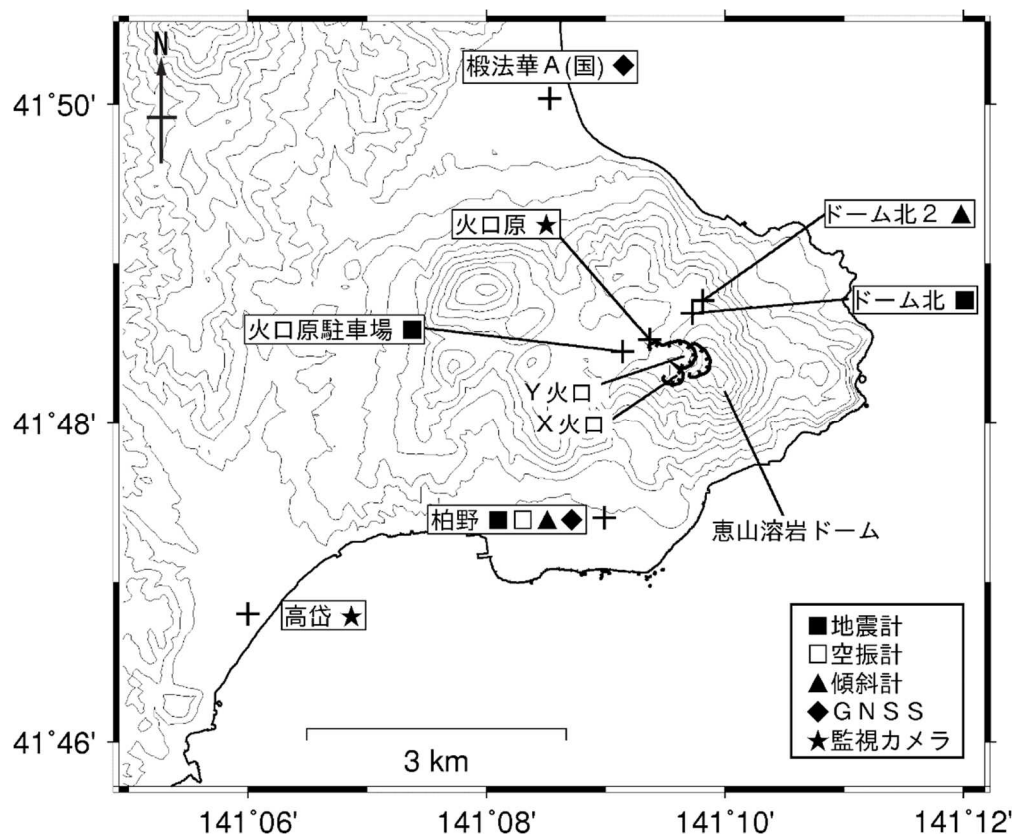


図3 恵山 観測点配置図

＋は観測点の位置を示します。

気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています。

（国）：国土地理院